

## T3リーグ(Bブロック)全日程終了、暫定3位に

8月、9月の2か月の間で、日大三高戦(8/3)、かえつ有明高戦(8/9)、東京高戦(9/27)のT3リーグ3試合が行われました。これらの試合は選手権予選前に合宿等で今まで取り組んだことを確認して、本番へ向かう試合でした。

日大三高戦では、相手のシステムが3-6-1の予想だったので、ウイークポイントである相手の両サイドから崩すという計画で試合を行いました。計画通りに、ゲームの序盤から相手の両サイドで数的優位を作り、優位に試合を進めることができました。後半20分過ぎ、不用意にボールを失ったところから、ディフェンスが一瞬の隙を突かれ、先に失点してしまいました。反撃に転じたい国分寺は数分後、3年成瀬からのスルーパスを3年阿部有がDFの裏で受け、ゴールを決め同点に。これで勢いづいたチームは、さらに相手を攻め立て、ゴール前で跳ね返ったボールを3年原田が押し込み勝ち越しに成功。その後も3年小泉が中央でボールを奪い、3年丹野へつなぎ、それを3年丹野が落ち着いてゴール左隅に流し込みました。結果は3-1で勝利しました。

この試合はほぼ計画通り「相手の両サイドから崩すこと」ができていました。相手のシステムに応じて戦い方を選択、チームで共通認識のもと、ゲームをコントロールする力がよりついてきた印象でした。

かえつ有明戦では、計画として「相手の狙いを封じること」をあげ、ハードワークとコミュニケーションから集団でボールを奪うことを共通認識として戦いました。試合序盤から相手の攻撃に対して、早いプレスやコースの限定、DFラインとGKが連携した守備がうまく機能していました。しかし、前半、不用意に与えてしまったフリーキックを直接決められ失点。国分寺はテンポのよいパス交換からゴール前の得点チャンスを作るものの最後の詰めが甘く0-1で前半を折り返しました。前半のリズムは悪くなかったので、前半同様のプランでスタートした後半、始まって早い時間帯に3年丹野からのパスを3年川本が落ち着いてゴールを決め、同点に。これで勢いづいたチームは選手の動き出しが一層良くなり、流れをつかむと、コーナーキックのチャンスで3年藤田がゴールを決め、勝ち越しに成功しました。その後も優位に試合を進め、決定機を何度も作りましたが、得点にはあと一歩及びませんでした。このまま試合終了かと思われたアディショナルタイム、粘りを見せる相手にコーナーキックを与えてしまいました。ゴール前混戦の中、クリアしきれず、まさかの失点を許し、試合終了。あと一歩で勝利のところ、2-2の引き分けに終わりました。

この試合では、計画の「相手の狙いを封じること」については、連携のとれた守備ができたことは良かった点でした。不用意なファウルやシンプルにプレーする時間帯やエリアなど修正する課題も見つかりました。

東京高戦では、相手の情報が少なかったので、相手の出方を見ながら、前からのプレスや横への速いスライドなど、チームで取り組んできた基本的なことを皆で行うことを確認して戦いました。ゲーム開始から相手の早いプレスや動き出しに対して国分寺には硬さが見られ、パスが繋がらず、多くのルーズボールを拾われるなど、相手に主導権を握られる展開となりました。前半の10分過ぎに先制点を許してしまいましたが、前に前にと出てくる相手に対して、簡単にプレーされないよう、粘り強く守備を行い、前半は0-1で折り返しました。ハーフタイムに攻撃の狙い目や、対人プレーなどの守備の確認を行うと、後半開始から相手のプレスに対してボールを簡単に失わなくなりました。しかし、相手のフリーキックからゴール前の混戦で対応しきれずシュートを決められ失点。この嫌な流れを払拭したのが、途中交代で入った3年久保田。3年阿部隆のパスを前線で受け、キーパーの脇を抜く狙い澄ましたゴールを決め、1点を返しました。これで勢いづいた国分寺は動き出しが早くなり、3年小泉を起点として速いテンポでパスを回せるようになりました。終盤は相手ゴール前での決定機を何度も作りましたが、残念ながら決めきれず、1-2で敗れました。

この試合では、序盤の相手の早いプレスに自分たちのプレーが落ち着いてうまくできなかったことが課題として挙げられました。対人のスクリーンプレーや相手の状況を見て次のプレーを早く選択することなど修正する課題が見つかりました。



上記の3試合でT3(Bブロック)の全日程が終了しました。今シーズンは全9戦戦い、3勝3敗3分の勝ち点12で暫定3位(10月7日現在)という結果でした。残すは最終順位決定戦になります。日時、場所等はまたホームページにてお知らせします。これまでのご応援ありがとうございました。

## 今年の夏に行われた活動をお知らせします。

遅くなりましたが、今年の夏に行われたサッカー部の活動をお知らせします。国分寺高サッカー部がどんな活動をしているのか、少しでも知っていただけたらと思います。

### OK.O.G CUP 2017 への参加

今年、創設された7、8地区の1年生の競技力向上を目的とした大会です。参加25校を5つのグループに分け、リーグ戦を行い、その後各グループ上位2チームと各3位の中から成績の良い2チームを選出して順位決定戦を行います。国分寺高はグループEに所属して、先日グループリーグを戦い終えました。戦績は以下の通りです。

昭和第一学園 4-0 ○

立川 2-0 ○

八王子東 3-1 ○

片倉 4-2 ○

結果は4戦全勝で、次のステージに進出が決定しました。国分寺の1年生は、入部当初から、チームの合言葉となっている「ハードワークとコミュニケーション」ができるチームになることを目標にトレーニングを重ねています。まだまだ個の力に頼る部分や組織としての連携、運動量など課題も多くありますが、着実に一人一人が成長しています。早くチームを担える存在になれるよう、今後の活躍に期待しています。

### ○メンタル講習会・栄養講習会を行いました。

7月8日にスポーツ心理学博士の布施 努先生をお招きし、「メンタルを高め、受験や試合で力を発揮するには」という講習会を運動部の2年生を中心に行い、サッカー部2年生も参加しました。精神面を課題としている選手が多い中で、布施先生の話聞き、自分の理想とする選手像に近づけるため、何をしていくのかキッカケをつかめた選手が多くいました。さらに、サッカーだけでなく、受験や日常生活で、どのように気持ちをコントロールするか、など大変役に立つ情報もたくさん講義していただき、有意義な講習となりました。

また、7月15日には、(株)明治の箕輪さんを講師としてお招きし、アスリートのための栄養講習会を行いました。サッカーに役立つ体作りを栄養面から考えたい思いが強い選手たちは、身体を作るために効率の良い食事の話など、真剣に聞き、ノートを取っていました。終了後は講師に質問をしたい生徒で列ができるなど、サッカーに役立つ知識を吸収したいという気持ちの選手が多くみられました。

### ○菅平高原へ合宿に行きました。

7月21日から29日の期間、前期組(21日~25日まで)と後期組(25日~29日まで)に分かれて、長野県の菅平高原へ合宿に行きました。選手権予選を直前に控えた前期組では「ゴールを奪う、守る」の意識と精度を高めることに取り組みました。チームの合言葉であるハードワークとコミュニケーションを一人一人が意識でき、内容の濃い合宿となりました。後期組ではフィジカル面の強化と練習試合で出た課題をもとにプレーの修正に取り組みました。ボールと相手の状況によるポジション取りや局面を打開する相手との駆け引き、ゴール前プレーの質の向上など、こちらも有意義な時間を過ごすことができました。また、練習以外の場面でも、共同生活を送る上でのマナーやサッカーに集中できる環境における様々な人への感謝の気持ち、仲間とのつながりなど、多くのことを学ぶことのできた合宿でした。最終日は皆、密度の濃い合宿をやりきったという自信の表情で、東京に帰りました。

### ○湘南遠征、U-16 交流会

チーム力向上を目的として、8月上旬に湘南遠征を行いました。藤沢清流高や秦野総合高、綾瀬高、綾瀬西高、元石川高、湘南高など都外の力のあるチームと試合を行うことができました。合宿や日頃の練習での取り組みを試合で試し、フィジカル面などの課題が分かたり、局面で取り組んだことを発揮できたりした実りある遠征でした。

また、同時期にU-16交流として、1年生が中学生のクラブチームと交流試合を行いました。

青梅FC、アローレ、VIDA、エスフォルソ、レッドスターなど多くのチームと試合を行いました。国分寺にはこれらのチームの出身者も多いので、交流試合を通して、恩師や後輩たちに成長した姿をみせるいい機会となりました。

### ○8地区ユースリーグ

Tリーグにつながる地区リーグで、国分寺は8地区の2部リーグに3チーム参加しました。2部リーグはAブロックからDブロック、それぞれ10チームずつの総当たり戦で、年度当初から試合を行いました。日頃の練習の成果を試す場としても、いろいろなチームと試合ができ、有意義なリーグ戦となりました。国分寺は10月1日に全日程を終了し、戦績は以下の通りです。

なお、まだ試合を消化していないチームがあり、順位は10月1日現在の暫定順位です。

## 2部Aブロック 国分寺B

○小平南 1-0、△東大和南 D2-2、○福生 B2-0、○五日市 1-0、○秋留台 6-2、  
○小金井北 7-0、△多摩工業 3-3、○上水 5-1、○東村山西 4-0  
勝ち点 23、7勝2分 1位

## 2部Bブロック 国分寺C

△東海大菅生 C2-2 ●小金井北 A1-2、○拝島 3-2、○東大和 C3-2、△小平西 1-1、  
○青梅総合 5-0、●東大和南 B0-2、○自由学園 4-0、△あきる野 FC3-3  
勝ち点 15 4勝3分2敗 5位

## 2部Cブロック 国分寺D

●東大和 B0-1、●昭和 0-3、●創価 B2-3、●中大附属 B1-2、○武蔵 6-1、  
○小平南 B6-1、○聖徳学園 2-0、○多摩 4-3、○啓明学園 5-0  
勝ち点 15 5勝4敗 4位

## 選手権 1次予選突破!

8月16日~20日、全国高等学校サッカー選手権大会の東京都1次予選が行われました。毎年、最大の目標である、この大会に照準を合わせ、今年のチームは「得点、失点に対する意識の改善」を行いました。攻撃では特に「ゴールに向かう意識」を持ち、ボールの出し手と受け手のタイミングの取り方などについて、守備ではハードワークとコミュニケーションを合言葉に相手の攻撃を限定しながら連携し、幅を持たせた守備などについて、取り組みました。今まで取り組んできたことを発揮して、全国大会を目指して戦います。

初戦の相手は、東大付属高。国分寺高グラウンドで行われたこの試合は、天候に恵まれず、グラウンドはかなりぬかるんだ状態で行われました。この試合のプランはグラウンドコンディションが悪いため、アタッキングサードに行くまで、とにかく相手の裏にボールを蹴り続けること。全員の共通理解の中、徹底したプレーにより、相手を自陣に押し込み、何度も相手ゴールに迫りました。主導権を握りながらも、なかなか得点を奪うことができませんでした。前半の嫌な雰囲気は払拭したのが、2年栗原でした。ゴール前にこぼれたボールをゴールに蹴りこみ、待望の先制点! さらに後半には、3年北島が左サイドからゴール右隅に狙い澄ましたゴールを決め試合を決定付けました。その後、控えの3年小田、鈴木、森が交代で出場すると、応援も一層盛り上がりました。3年間頑張つて、ようやく公式戦のピッチに立ち、ひたむきにボールを追いかける彼らが、さらにチームに勢いを与え、そのまま相手に反撃を許さず、完勝しました。終了後はチームみんなで勝利を分かち合い、この仲間と少しでも長くサッカーがしたいと思うゲームとなりました。

2回戦の相手は、日大二高。このゲームの狙いは相手の裏にボールを入れた後、セカンドボールを回収してアタッキングサードから攻撃を始めることと、相手の陣内からボールを出さないことでした。試合開始直後、狙い通りに波状攻撃を仕掛けると、開始2分で味方シュートのこぼれ球に鋭く反応した3年保坂がボールをゴールに蹴り込み、先制点。その後もほぼプラン通り、相手にクリアすらさせない展開を作り、前半はゲーム完全に支配していました。後半、相手は3バックシステムにポジションを変更、勝負を仕掛けてきました。長めのパスから中央を突破されるなど、あわや失点という場面も何度かありました。前に人数をかけて速く攻めようとする相手に対して、スタッフから「カバーを速く」、との指示が出ると、3年小林を中心としたディフェンス陣は、その指示通り、素早くプレーを修正。すると、展開が落ち着き、再びペースは国分寺に。そして後半32分、相手ペナルティエリアの外で得たフリーキックにチャンスにキッカーは、3年成瀬。プレッシャーのかかる中、頼れるキャプテンがゴール右に素晴らしいシュートを決め、日大二高を突き放し、粘る日大二高を振り切りました。

この試合では、相手のシステム変更に対して、国分寺の修正力の高さが出た試合でした。うまくいかない場面にも、ピッチの中ではよく話ができており、個人でなく集団で戦う国分寺の良さが十分に発揮できました。

ブロック決勝の相手は、杉並総合高。このゲームの狙いは前の日大二高戦と変わらずで、シンプルなプレーを行うことでした。この試合も開始早々から、相手への素早い寄せでプレッシャーをかけ、ボールを奪うと相手のディフェンスラインに対して裏をとる長いパスや、FWへの楔のパスから、複数の選手がタイミングよく抜け出しパスを受けるなど、手数をかけすぎることなく、全員がこのゲームのねらい通りのプレーを展開しました。引いて守る相手になかなか得点を奪えずにいましたが、3年成瀬からのパスを受けた3年川本が均衡を破るゴールを決め、1-0で前半を折り返しました。後半の早い時間帯に3年丹野とのコンビネーションから3年柳川が2点目のゴールを奪うと、その後はゴールラッシュとなりました! 3年川本がゴール前で倒れ込みながら左サイドネットにこの日2点

目のゴールを奪うと、3年中塚が3年佐藤楓からのパスをニアサイドで合わせてゴール。さらに攻撃の手を緩めず、エース3年丹野の2得点に、2年石原からのコーナーキックを3年佐藤楓が頭で合わせたゴールの3点を追加して、7-0の圧勝でした！

この試合は、全員が得点を取るため、ゴールを守るために何をすべきか考え、共通の戦術理解の下で、相手を圧倒したゲームとなりました。自らの動き出しに対して、パスが出てくるという仲間との信頼関係からの積極的なプレーや、ファーストDFやセカンドDFの役割など約束事を守り、忠実にプレーする国分寺の良さが、とてもよく出せました。加えて、1回戦、2回戦で少なかった得点も、この決勝では大量得点を取ることができ、次の2次予選に向け、いい形で1次予選を通過できました。

選手権2次予選は10月14日（土）から始まります。初戦の相手は東京実業高で、清瀬内山Aグラウンドにて14:00キックオフで行われます。この試合に勝てば10月21日（土）10:00より駒沢第2球技場にて関東一高と対戦します。夢の舞台に向け、更なるいい準備を行い、「西が丘から全国へ」の目標を達成できるよう、チーム一丸で頑張りたいと思います。応援よろしくをお願いします。



### 中学生練習会が行われました。

8月19日（土）国分寺高校グラウンドにて中学生練習会が行われました。

この日は約60名の中学生が参加し、国分寺高サッカー部員とサッカーを楽しみました。国分寺高のサッカーは、個人で局面を打開するよりも、組織で守り、パスをつないで相手を崩すサッカーを行っています。そのため、今回は一部ではありますが、練習メニューとして、そのチームの狙いを感じることでできるパス練習や2対2および4対4の2サーバー練習やゲームなど行いました。面倒見の良い先輩たちの雰囲気や、参加した同級生たちのレベルの高さに、「国分寺で一緒にサッカーをしたい」と感じていただけたなら、幸いです。

また、お忙しい中、多くのご父兄、保護者の方々にもご来校、ご参観いただき、ありがとうございました。今年度も11月に2度目の練習会を実施する予定です。詳細については10月上旬にホームページにてお伝えします。

### チーム状態は昇り調子!

この一ヶ月間にT3リーグ3試合が行われました。修徳、大東文化第一、東京成徳という力のある学校との対戦でした。修徳戦では、前半、早い時間帯にDF3年星野が負傷して交代してしまいましたが、ここからチームが奮起し、DF星野のポジションに入った2年玉井が3年小林らと連携し、相手を0点に抑え、攻撃では3年成瀬、3年保坂、3年丹野が得点を奪い、完勝しました。

次週に行われた大東文化第一戦では、前半何度か相手に決定的な場面を作られるも、最後のところで3年遠藤、藤田、小林たちを中心とするDF陣の好守により相手の攻撃を抑えました。すると、攻撃のリズムも生まれ、チームのために献身的な働きを見せるMF3年北島が、左サイドから渾身のクロスをあげ、それが相手DFのクリアミスを誘い待望の先制点を奪いました。それが決勝点となり、1-0の勝利となりました。

7月14日に行われた東京成徳戦は連勝の勢いもあり、前半MF3年阿部有の右サイドの突破からの折り返しをFW3年丹野がうまくゴール前で合わせ先制しました。しかし、前半終了間際、PKを与えてしまい、同点に追いつかれました。後半、3年福澤を右サイドハーフで投入し、3年丹野、中塚、阿部有が果敢に相手ゴールに迫るも得点を挙げることはできず、逆に相手に一瞬の隙を突かれて失点してしまいました。その後、怒涛の攻撃を仕掛けるもコーナーキックからの3年藤田のヘディングシュートは惜しくも枠に入らず、交代で入った3年原田の終了間際のシュートも相手のゴールマウスを揺らすことはなく、1-2で惜敗しました。これでTリーグの成績は2勝2分2敗となりました。

今後の公式戦予定ですが、Tリーグは8月3日（木）15:30より日大三高戦、8月9日（水）18:00より、かえつ有明戦が駒沢第二球技場にて行われます。また、8月半ばから選手権一次予選が始まります。三年生にとってはい

よいよ最後の集大成の大会になります。ここ最近の試合内容は1戦ごとに力強く逞しくなっているので、合宿でさらにチームの力を伸ばし、最後の選手権に向けて弾みをつけたいと考えています。応援のほど、よろしくお願いいたします。



### 選手権一次予選日程

選手権一次予選の日程が決まりました。国分寺高校の初戦は8月16日(水)9:30より国分寺高校グラウンドにて東大付属高校戦です。2回戦は8月18日(金)15:00より明大中野八王子グラウンドにて、さらに駒を進めれば、ブロック決勝も同じ明大中野八王子グラウンドにて8月20日(日)15:00より行われます。

3年生にとって、またチームにとっては最大の目標としている大会です。この大会を勝ち進んで、全国大会へ出場できるよう、選手、スタッフ一同、頑張ってきました。皆様の応援に応えられるよう、精一杯、戦って結果を出したいと思います。

なお、応援にてご来場の際には、公共の交通機関をご利用いただき、会場では本部の指示に従っていただきますよう、お願いいたします。

### 勝ち点を積み上げたリーグ戦、さあ、ここからだ!

総体の都大会1回戦では、終始、試合の主導権を握りながらも都立高島に1-2で惜敗してしまいました。応援していただいた皆様、ありがとうございました。

また、5月末にはT3リーグ、東京武蔵野シティFCユース(B)戦が行われました。前半、3年丹野の献身的なフォアチェックから相手のボールを奪い、先制ゴールを決めるもその数分後に同点とされました。しかし、後半はほとんど国分寺のペースで試合が進み、特に後半から途中交代で出場した2年玉井が右サイドから何度も決定的なチャンス演出するも、相手の好守に阻まれ、1-1の同点で試合終了。勝ち点1を積み上げました。次節は6月14日(水)18:00より清瀬内山運動公園サッカー場にて修徳戦があります。チーム一丸となって、勝ち点をあげられるよう頑張りますので、応援のほど、よろしくお願いいたします。



### 卒業生の進路実績

遅くなりましたが、サッカー部卒業生の進路実績をお伝えします。今年も現役卒業生が国公立の京都大、大阪大、筑波大、農工大、横浜国立大、東京学芸大、首都大等、また私立では早稲田大、慶応大など難関校に多数合格し、文武両道を果たしました。浪人生も来年は希望通りの進路になることを期待しています。

## 2017 年度 T3 開幕 2 戦を終え、勝ち点 1 の苦しいスタート!

昨年度 T4 リーグからの昇格で、今年度は T3 リーグの B ブロックで 9 戦を戦います。

4/4 に行われた町田ゼルビアユース戦では、前半から相手の鋭い出足とパスワークで押し込まれ前半の 10 分過ぎには 2 点失点と苦しい立ち上がりになりました。それでも、徐々に相手の攻撃に慣れて相手の攻撃を抑えることができるようになってくると、後半にはあと一歩で得点、という場面がいくつかあり、主導権を握る時間帯がありました。しかし、得点を奪うまでには至らず、初戦は 0-2 で落としました。

4/4 に行われた多摩大目黒戦では、前半、不用意な失点があったものの立て直し、後半には 2 年栗原から 3 年丹野へのスルーパスがきれいに通り、これを丹野が落ち着いて決め、同点に。これで勢いづき相手の陣内に果敢に攻め込むもゴールを奪えず、逆に相手にミドルシュートを決められて、1-2 と逆転されました。それでも終了間際、2 年石原のロングスローインから 3 年星野が頭でそらし、それに 3 年中塚が鋭く反応しコースを変えたボールがゴールインし、土壇場で同点に追いついてのドローとなりました。

T3 リーグはまだ始まったばかりです。次戦の 5/31 東京武蔵野ユース (B) では、勝ち点 3 を狙って、頑張りますので、応援よろしくをお願いします。



### 高校総体支部予選スタート

今年も高校総体予選が始まりました。

4/23 国分寺 8-0 多摩、4/30 国分寺 1-0 明星学園、5/3 国分寺 2-0 明学東村山で見事ブロック優勝を飾りました。都大会初戦は 5 月 13 日 (土) 14:00 より駒沢第 2 球技場にて、都立高島高校となりました。応援よろしくをお願いします。

### 新入部員 32 名+マネージャー 4 名

国分寺高校サッカー部に一年生が 36 名入部しました。総勢 100 名を今年も越えて、気持ちも新たに、「西が丘から全国へ」という目標のもと、全員が一丸となって頑張っていきます。国分寺サッカー部の伝統を背負い、新たな歴史の一ページを刻んでくれることを期待しています。